

(指針配慮事項編)

〔1〕はじめに

1 出店の趣旨

地域の皆様におかれましては、益々のご清栄のこととお慶び申し上げます。
 平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
 この度、西区石丸 1 丁目の「マルキョウ福重店」のリニューアルを計画しております。地域の皆様方、関係各位の皆様方におかれましては、弊社の意図するところをお汲み取りの上、ご理解、ご協力の程、賜りますようお願い申し上げます。

2 大規模小売店舗設置者等の連絡先等

(1) 設置者の連絡先及び電話番号・FAX番号

担 当 者：株式会社マルキョウ 店舗開発部 井上
 所 在 地：福岡県大野城市山田 5 丁目 3-1
 電話番号：092-501-5764 FAX 番号：092-501-9392

3 店舗施設計画の概要

(1) 計画地の概要

① 敷地面積及び土地の所有形態

建物敷地（計画地）	5, 272. 55 m ²	賃貸借一部自己所有
-----------	---------------------------	-----------

② 法令上の用途等

用途地域：第一種中高層住居専用地域、第二種住居地域
 そ の 他：市街化区域、法第 22 条区域、第二種 15 メートル高度地区、
 第二種 20 メートル高度地区

③ 現在の利用状況

既存店舗営業中

(2) 計画地周辺の概要

① 立地環境

計画地は地下鉄空港線姪浜駅の南約 850m に位置し、県道都地姪浜線及び市道石丸 297 号線に面している。計画地の周囲は北側に水路を挟み店舗及び集合住宅が立地、東側に道路を挟み店舗兼住宅、事務所兼住宅、駐車場、店舗及びクリニックが立地、南側に道路を挟み集合住宅、店舗及び学習塾が立地、西側に駐車場が隣接している。

② 基盤整備に関する事業の有無とその内容

該当なし

③ 街並みづくり計画の有無とその内容

該当なし

(3) 建物の構造及び規模

① 建物構造

- イ 構造 鉄骨造
- ロ 階数 地上1階
- ハ 高さ 6.7m

② 店舗面積の内訳

- イ 建築面積 2,728.81 m²
- ロ 延べ面積 2,580.32 m²
- ハ 各階ごとの店舗面積及び延べ面積等

区分 階数	店舗面積	その他施設 ・併設施設等	延べ面積	主な用途
1階	1,704 m ²	876.32 m ²	2,580.32 m ²	店舗、作業室等

(4) その他の施設・併設施設等の計画と各施設面積

該当なし

(5) 建築着工予定年月日及び完成予定年月日

- ①建築着工予定年月日 令和7年11月1日（予定）
- ②完成予定年月日 令和8年7月31日（予定）

4 まちづくりへの協力・地域社会への貢献に係る取組等について

(1) まちづくりや防災・防犯、環境保全等に係る連携・協力

- ①従業員による店内巡回や声かけ等を実施するとともに、駐車場内には適切な照明設備を配置することで、駐車場内の死角を排除し、青少年の蟄集等の防犯対策に努める。
- ②店舗内における犯罪や少年非行防止の観点から、見通しを確保した商品陳列、防犯カメラの設置など、万引き防止等の防犯対策を講じる。
- ③災害時や緊急時には、地元警察と連携し、事件発生時における警察への通報要領及び誘導措置など緊急通報体制を確立し、地域の防犯対策に努める。
- ④環境美化対策として、従業員における店舗周辺の清掃美化活動を定期的実施する。
- ⑤バリアフリー法や福祉のまちづくり条例に適合した店舗づくりをめざし、多目的トイレの設置を行う。

(2) 地域商業活性化に係る連携・協力

- ①万一閉鎖を余儀なくされた場合においては、「早期の情報提供」、「従業員雇用の確保」、「取引先企業に対する対応」、「店舗閉鎖に伴う環境悪化の防止」など適切に対応する。

(3) 地域の祭りや行事等への参加・協力

- ①地域の祭りや各種行事について申し出があった場合には協力を検討する。

(4) その他、事業活動を通じた社会貢献など

- ①従業員の採用にあたっては、地元から優先的に雇用する。

(5) 地域社会との連携窓口

株式会社マルキョウ 店舗開発部 井上
福岡県大野城市山田5丁目3番1号
電話番号：092-501-5764 FAX 番号：092-501-9392

〔2〕「指針」の各項目に関する事項

1 駐車場の計画

① 駐車場の構造、収容台数、面積及び敷地の状況

駐車場No.	収 容 台 数		面 積	駐車区画の大きさ	
	一般用	身障者用		一般用	身障者用
No. 1	20 台 4 台	—	290.0 m ²	2.5m×5.0m 2.5m×4.0m	—
No. 2	52 台	2 台	685.0 m ²	2.5m×5.0m	3.5m×5.0m
合計	78 台（内 24 台は業務用）				

※内 24 台（駐車場 No. 1：4 台、駐車場 No. 2：20 台）は業務用等

駐車料金の徴収の有無	駐車場法届出	附置義務条例	入口ゲートの入庫処理時間	契約形態
無	無	無	ゲート無	賃貸借契約

② 交通への支障を回避するための方策等

交通への支障回避の方策	具 体 的 な 内 容
交通整理員の配置	配置場所：駐車場の出入口や駐車場内など 配置人数：1～2 名（状況に応じて適宜増員する） 配置日・時間：オープン時及び繁忙時など必要に応じて配置

2 駐輪場・自動二輪車の駐車場の計画

① 市基準に基づく必要駐輪台数算出根拠

S：店舗面積	1,704 m ² ※5,000 m ² 以下
必要駐輪場台数算出式	1,704÷70≒24 台 ※その他用途地域により店舗面積 70 m ² あたり 1 台、端数切捨て
必要駐輪場台数(内原付)	24 台（3 台） ※原動機付き自転車は必要駐輪台数の 1 割とし、端数切上げ

② 駐輪場の構造、収容台数及び面積

駐輪場No.	駐輪場構造	収容台数 (うち原動機付自転車)	面 積	駐輪区画の大きさ	
				一般用	原動機付自転車
No. 1	平面式	25 台（3 台）	31.8 m ²	0.6m×2.0m	0.9m×2.0m

※内 1 台は業務用

③ 駐輪場の管理体制

項 目	
整理員等の配置	店舗従業員の適宜見回りにて対応する。
営業時間外の管理等	特になし。

④ 駐輪場案内の表示方法

駐輪場である旨を看板設置

⑤ 自動二輪車駐車場の必要台数の予測の結果と算出根拠

大規模小売店舗立地法の指針及び、「第 5 回北部九州圏パーソントリップ調査(H29)ゾーン別発生集中量」の代表交通手段構成の比率より、本計画地の西区における自動車に対する自動二輪車の割合(2.4%)を基に算出した結果、自動二輪車の必要規模の合計は 1 台と予測される。計画の自動二輪車駐輪場台数は 1 台としており、自動二輪車の必要台数を充足する計画となっている。

必要駐車台数 54 台より、

$54 \times 2.4\% = \underline{\text{自動二輪車 1.296 台}}$ （端数処理：切り捨て但し最低台数 1 台）→自動二輪車 1 台

⑥ 自動二輪車駐車場の構造、収容台数及び面積等（添付図面3-1参照）

自動二輪車駐輪場No.	構造	収容台数	面積	駐車区画の大きさ
自動二輪車駐輪場	平面式	1台	3.45m ²	1.5m×2.3m

⑦ 自動二輪車駐輪場を設けるに当たっての安全上の対策

自動二輪駐輪場である旨の路面標示

3 荷さばき施設の計画

① 荷さばき施設の面積・構造

荷さばき施設No.		No. 1
同時作業の 可能な台数	想定する車両の大きさ	2t 車 / 4 t 車
	台数	1 台
待機スペースの有無・広さ		無
(防音等の対応) アイドリング禁止の旨を記載した看板を設置することで注意を喚起する。		

② 搬出入車両の出入口の数

専用出入口の有無	搬出入車両の出入口の数	対 応 等
無	2 箇所 (出口 No. 1、入口 No. 2 を共用)	搬出入業者には、来店者と出入口が共用である旨を周知する。 入出庫時の安全運転を徹底させ、必要に応じて従業員等により誘導を行い、駐車場内での事故防止を図る。

4 経路の設定

① 設置者が行う交通対策等の予定

No	行政指摘事項	対応策
①	チラシ、出入口への路面標示、看板等の設置が必須になると考えます。(西警察署)	駐車場出入口に看板設置を行うほか、オープン時や繁忙期等多くの来店車両が見込まれる際には、新聞折り込みチラシに案内経路を掲載します。また、出口には OUT、入口には IN、出入口には中央線及び停止線の路面標示を行います。

5 その他の施設の配置及び運営方法に関する計画

① 歩行者の通行の利便の確保等のための計画

	具体的な内容等
歩行者通路確保のための対策	特になし
夜間照明等の設置の有無	有：適切な照明設備を配置することで、夜間、歩行者の通行の安全を確保する。

② バス等公共交通機関のための駐車場の整備

施設計画の概要(滞留台数、シェルターの有無、整備延長等)	無
------------------------------	---

③ 交通対策事業への提案

事業計画の概要(パークアンドライド事業等)	無
-----------------------	---

④ 廃棄物減量化及びリサイクルについての計画

廃棄物減量化及びリサイクル計画の予定及び概要

- ・店舗から排出される廃棄物の品目について回収業者へ情報を提供し、極力資源化を図れるよう協力する。
- ・商品梱包用段ボールや空き缶を分別保管し、業者に依頼して再資源化を図る。
- ・過剰包装、梱包の抑制による廃棄物の低減化を図る。

店舗発生分

廃棄物種別		品目
古紙(リサイクル可能な紙)		新聞紙、段ボール、雑誌、オフィス古紙、機密書類、雑がみ
可燃物	厨芥類	食品廃棄物、魚あら、廃食用油、その他()
	その他	ペットボトル、食品トレイ、発泡スチロール、その他可燃ごみ
不燃物		缶類(アルミ・スチール)、びん類、その他(電池、蛍光管)

※上記品目で、店舗から発生しないものについては二重線で消し、店舗から発生し資源化するものについては丸で囲むこと。

資源物の店頭回収分及び家電リサイクル法に基づく家電品の引取分

廃棄物種別		品目
可燃物		牛乳パック、食品トレイ、ペットボトル、その他()
不燃物		アルミ缶、空きびん、その他()
廃家電		エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機

※上記品目で、店舗にて回収・引取を行わないものについては二重線で消し、店舗にて回収・引取を行うものについては丸で囲むこと。

近隣住民等への周知方法

- ・住民説明会で周知を図る。

⑤ 防災・防犯対策への協力等

イ 防災対策への協力

防災協定等締結の有無	締結協定の具体的な内容
無	行政より要請があれば検討する。

ロ 防犯対策への協力

防犯対策への協力の有無	防犯対策への協力に係る具体的な内容
無	行政より要請があれば検討する。

ハ 店舗が主体的に取り組む防犯対策について

- ①従業員による店内及び駐車場内の巡回や声かけ等により、青少年の蟻集等の防犯対策に努める。
- ②見通しを確保した商品陳列、防犯カメラの設置など、万引き防止等の防犯対策を講じる。
- ③災害時や緊急時には、地元警察と連携し、事件発生時における警察への通報要領及び避難誘導措置など緊急通報体制を確立し、地域の防犯対策に努める。

6 騒音の予測と騒音対策

① 荷さばき施設及び作業にかかる騒音対策

荷さばき施設の配置等		添付図面3-1参照
具体的な騒音対策の内容	施設面	・荷さばき施設は、十分な作業スペースを確保して計画的な搬出入を行うことで、作業時間の短縮に努める。
	運用面	・荷さばき作業車両のアイドリング禁止を徹底する（但し、エンジンを停止することができない保冷車のアイドリングは除く）。 ・作業人員への騒音防止意識を徹底させる。 ・22 時台の搬出入車両は、後進警報ブザー音を切れる車両とし、ブザー音を切るよう作業員に周知する。 ・夜間から早朝（23 時～翌 6 時）には荷さばき作業は行わない。

② BGM等の営業宣伝活動の予定及び騒音対策 屋外に向けての営業宣伝活動は行わない。

③ 冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機等の規模・能力・騒音レベル及び騒音対策

項 目			騒音値(dB)		卓越周波数	能力	騒音対策
			$L_{pA}(r0)$		(Hz)	(kw)	
T101	キュービクル	—	51.3	51.3	500.0	—	無
T201	室外機(冷凍冷蔵用)	ECOV-DM75MA	63.0	63.0	不明	7.50	
T202	室外機(冷凍冷蔵用)	ECOV-D15WA1	56.5	56.5	不明	1.60	
T203	室外機(冷凍冷蔵用)	ERA-RP11B	48.0	48.0	不明	1.20	
T204	室外機(冷凍冷蔵用)	ECOV-EN37WB	50.0	50.0	不明	3.90	
T205	室外機(冷凍冷蔵用)	ECOV-EN55A	52.5	52.5	不明	8.40	
T206	室外機(冷凍冷蔵用)	ECOV-EN225MB	57.0	57.0	不明	11.4×2	
T207	室外機(冷凍冷蔵用)	ECOV-EN260MB	60.0	60.0	不明	10.1×3	
T208	室外機(冷凍冷蔵用)	ECOV-DM270MA	69.5	69.5	不明	8.4×3	
T209	室外機(冷凍冷蔵用)	ECOV-J300A	69.5	69.5	不明	7.96×3	
T301	室外機(空調用)	PUZ-ERMP140LA14	56.0	56.0	不明	2.60	
T302	室外機(空調用)	PUZ-ERP224KA5	59.0	59.0	不明	4.30	
T303	室外機(空調用)	PUZ-ERP160KA5	51.0	51.0	不明	3.80	
T304	室外機(空調用)	PUZ-ERMP160LA14	57.0	57.0	不明	3.50	
T305	室外機(空調用)	PUZ-ERMP50KA14	46.0	46.0	不明	1.00	
T306	室外機(空調用)	PUZ-ERMP56KA14	46.0	46.0	不明	1.20	
T307	室外機(空調用)	PUZ-ERMP80HA14	49.0	49.0	不明	1.60	
T308	室外機(空調用)	PUZ-ERP45KA5	46.0	46.0	不明	0.90	
T309	室外機(空調用)	PUZ-ERP140KA5	50.0	50.0	不明	2.80	
T310	室外機(空調用)	PUZ-ERMP280KA5	62.0	62.0	不明	6.00	
T311	室外機(空調用)	PUZ-ERMP280KA5	62.0	62.0	不明	6.00	
T312	室外機(空調用)	PUZ-ERMP280KA5	62.0	62.0	不明	6.00	
T313	室外機(空調用)	PUZ-ERP80HA11	46.0	46.0	不明	1.50	
T314	室外機(空調用)	PUZ-ERP160KA5	51.0	51.0	不明	3.80	
T315	室外機(空調用)	PUZ-ERP160KA5	51.0	51.0	不明	3.80	
T316	室外機(空調用)	PUZ-ERP160KA5	51.0	51.0	不明	3.80	
T317	室外機(空調用)	PUZ-ERP160KA5	51.0	51.0	不明	3.80	
T318	室外機(空調用)	PUZ-ERP160KA5	51.0	51.0	不明	3.80	
T319	室外機(空調用)	PUZ-ERP160KA5	51.0	51.0	不明	3.80	
T320	室外機(空調用)	PUZ-ERP160KA5	51.0	51.0	不明	3.80	
T321	室外機(空調用)	PUZ-ERMP224KA4	61.0	61.0	不明	4.60	定期的に保守点検を実施し、故障等による異音の発生を防止する。
T322	室外機(空調用)	PUZ-ERMP160LA14	57.0	57.0	不明	3.50	
T323	室外機(空調用)	PUZ-ERP160KA5	51.0	51.0	不明	3.80	
T324	室外機(空調用)	PUZ-ERP160KA5	51.0	51.0	不明	3.80	
T325	室外機(空調用)	PUZ-ERP160KA5	51.0	51.0	不明	3.80	

指針配慮事項

T401	給排気口	VD-13ZVC7	27.5	27.5	250.0	0.003	大きな騒音が出ない形状とする
T402	給排気口	VD-15ZVC7	42.0	42.0	250.0	0.02	
T403	給排気口	機器不明	52.5	52.5	不明	不明	
T404	給排気口	機器不明	52.5	52.5	不明	不明	
T405	給排気口	V-08PPD8	31.5	31.5	250.0	0.005	
T406	給排気口	V-08PPD8	31.5	31.5	250.0	0.005	
T407	給排気口	V-08PPD8	31.5	31.5	250.0	0.005	
T408	給排気口	BFS-240TUA2	69.0	72.5	1000.0	1.10	
T409	給排気口	VD-15ZVY7	46.0	46.0	250.0	0.02	
T410	給排気口	BFS-90SUDC	54.5	58.0	1000.0	0.13	
T411	給排気口	EFG-40MSB2	57.0	60.5	250.0	0.15	
T412	給排気口	BFS-450TUA2	73.0	76.5	2000.0	2.20	
T413	給排気口	BFS-450TX2	72.0	75.5	125.0	2.20	
T414	給排気口	VD-23ZV6	51.0	51.0	250.0	0.10	
T415	給排気口	BFS-150TXA2	66.5	70.0	4000.0	0.44	
T416	給排気口	VD-23ZVX6-C	48.5	48.5	250.0	0.08	
T417	給排気口	VD-15ZVX7-C	41.5	41.5	250.0	0.02	
T418	給排気口	VD-10ZVC7	23.5	23.5	250.0	0.003	
T419	給排気口	VD-18ZVC7	38.0	38.0	250.0	0.02	
T420	給排気口	VD-15ZVX7-C	41.5	41.5	250.0	0.02	
T421	給排気口	BFS-65SUDC	48.5	52.0	1000.0	0.07	
T422	給排気口	VD-18ZVC7	38.0	38.0	250.0	0.02	
T423	給排気口	BFS-65SUDC	48.5	52.0	1000.0	0.07	
T424	給排気口	BFS-90SUDC	54.5	58.0	1000.0	0.13	
T425	給排気口	BFS-100SSUA	53.0	56.5	63.0	0.20	
T426	給排気口	BFS-100SSUA	53.0	56.5	63.0	0.20	
T427	給排気口	VD-13ZVC7	27.5	27.5	250.0	0.003	
T428	給排気口	BFS-90SUDC	54.5	58.0	1000.0	0.13	
T429	給排気口	BFS-100SSUA	53.0	56.5	63.0	0.20	
T430	給排気口	BFS-100SSUA	53.0	56.5	63.0	0.20	
T431	給排気口	BFS-90SUDC	54.5	58.0	1000.0	0.13	
T432	給排気口	VD-18ZV6	45.0	45.0	250.0	0.02	
T433	給排気口	VD-15ZVY7	46.0	46.0	250.0	0.02	
T434	給排気口	BFS-300TX2	73.0	76.5	1000.0	1.50	
T435	給排気口	VD-20ZV6	49.5	49.5	250.0	0.04	
T436	給排気口	BFS-150TXA2	66.5	70.0	4000.0	0.44	
T437	給排気口	VD-20ZV6	49.5	49.5	250.0	0.04	
T438	給排気口	BFS-150TXA2	66.5	70.0	4000.0	0.44	
T439	給排気口	BFS-240TUA2	69.0	72.5	1000.0	1.10	

$L_{pA}(r0)$: 基準距離における騒音レベル、 $r0=1\text{ m}$

④ 駐車場の騒音対策

駐車場名称等		No. 1
具体的な騒音対策の内容	施設面	・スロープは緩勾配とする。
	運用面	・オープン時や繁忙時など多くの来店車両が見込まれる際には、出入口付近に交通整理員を配置して、場内走行の円滑化を図ることで、渋滞の発生による騒音抑制に努める。 ・駐車場内には徐行運転（10km/h 以下）やアイドリング禁止を励行する旨の看板を設置して来店者に注意を促す。

⑤ 廃棄物収集作業にかかる騒音対策

廃棄物回収場所の配置等		添付図面 3-1 参照
回収時間帯		6:00～22:00 に 2 台（資源物） 22:00～6:00 に 1 台（可燃物及び不燃物）
具体的な騒音対策の内容	施設面	特になし
	運用面	・ゴミの搬出量を減らし、収集時間を短縮できるよう努めるとともに、夜間の回収頻度は 1 日に 1 台（週 6 回）とする。 ・廃棄物収集業者に以下について書面等にて協力を要請する。 ・収集作業時の騒音抑制の意識向上に努めること ・夜間（22 時～翌 6 時）に廃棄物を回収する際には、後進警報ブザー音を停止すること ・夜間の早い時間帯での回収を行うこと ・バリカー開閉や運転席ドア開閉等の際の騒音抑制に努めること ・駐車場内では徐行運転（10km/h 以下）すること ・圧縮作業は、ごみの発生量に応じて周辺住居への影響の少ない場所で行うこと

7 廃棄物等の保管施設の計画

① 廃棄物保管施設の計画

面 積	排出方法	洗浄設備	冷蔵設備等の有無	附属設備の概要
10.95 m ²	ポリ袋・ペール	有	有	無

② 資源物保管施設の計画

面 積	廃棄物との区分方法	防水対策	附属設備
7.37 m ²	別途保管庫内に設置 品目毎に仕切り	建物内に保管	特になし

8 廃棄物等の運搬・処理計画

① 廃棄物等の運搬方法

項目	古紙	厨芥類	プラスチック製廃棄物
運搬の方法	業者委託	業者委託	業者委託
	収集車の種類 (パッカー車)	収集車の種類 (パッカー車)	収集車の種類 (パッカー車)
予定業者等	有限会社福岡紙業	株式会社エイコー	株式会社エイコー
搬 入 先	有限会社福岡紙業自社工場	福岡バイオフーズリサイクル	西部リサイクルプラザ
運搬の頻度	週 7 日 (2 回/日)	週 6 日	週 6 日

項目	ガラス製廃棄物	金属製廃棄物	その他可燃性廃棄物
運搬の方法	業者委託	業者委託	業者委託
	収集車の種類 (パッカー車)	収集車の種類 (パッカー車)	収集車の種類 (パッカー車)
予定業者等	株式会社エイコー	株式会社エイコー	株式会社エイコー
搬 入 先	西部リサイクルプラザ	西部リサイクルプラザ	クリーンパーク西部
運搬の頻度	週 6 日	週 6 日	週 6 日

② 廃棄物等の処理方法

項目	古紙	厨芥類	プラスチック製廃棄物
処理の方法	敷地外処理	敷地外処理	敷地外処理
処理予定業者等	未定	未定	未定
処理の具体的な方法	リサイクル	リサイクル	リサイクル
処理関連設備の内容	—	—	—
処理施設の悪臭対策	—	—	—
処理施設の防音対策	—	—	—
処理施設の配置	—	—	—

項目	ガラス製廃棄物	金属製廃棄物	その他可燃性廃棄物
処理の方法	敷地外処理	敷地外処理	敷地外処理
処理予定業者等	未定	未定	未定
処理の具体的な方法	リサイクル	リサイクル	焼却
処理関連設備の内容	—	—	—
処理施設の悪臭対策	—	—	—
処理施設の防音対策	—	—	—
処理施設の配置	—	—	—

③ テナント等に対する廃棄物等の運搬・処理方法の徹底

啓発のための組織体制及び方法
従業員に対して掲示物等で周知徹底する。

④ その他の廃棄物等の運搬・処理方法
該当しない

⑤ 食品加工場計画

面積	324.34m ²
配置	<添付図面3-1 配置図・1階平面図 参照>
加工の具体的内容	・解体、調理加工、パック詰め
悪臭対策	・悪臭の元となる生ごみは、密閉性が確保できる保管施設に収納するとともに、冷蔵設備を設置することで、悪臭が漏出しないように配慮する。 ・定期的に保管庫を水洗洗浄することにより、悪臭発生防止を図る。
汚水対策	・施設から出る排水はグリストラップにより処理され、敷地外へ排出される。

⑥ 小売店舗以外の施設から発生する悪臭対策
該当しない

9 街並みづくり等への配慮に関する事項

① 街並みづくり等への配慮事項

・特になし。

② 敷地内の緑化計画

敷地面積	緑化面積	緑化の方法
5,272.55 m ²	—	プランターの設置

③ 景観への配慮

建物の形態・意匠	外壁等の色彩や外観整備等について周辺環境と調和させるなど、福岡市景観計画の景観形成指針に適合するよう努める。	
	外観の色彩	別途「添付図面5 立面図」参照
屋外広告物	別途「添付図面5 立面図」参照	

④ 屋外照明・広告塔照明等の計画と光害対策

	屋 外 照 明	広 告 塔 照 明
照明灯の配置	添付図面 3-3 照明配置図ほか詳細図参照	添付図面 3-3 照明配置図ほか詳細図参照
照明灯の方向	駐車場方向	広告塔方向
照明の強さ	8840 lm×7 灯	4440 lm×14 灯
点 灯 時 間	日没から閉店後 30 分	
光 害 対 策	周辺近隣に対して光害を発生させないよう照明の配置、方向、光源の種類には十分に配慮する。	